

Title	Covered Wallstentによって治療した食道気管瘻を伴った悪性食道狭窄の1例
Author(s)	岩崎, 善衛; 中島, 康雄; 野坂, 俊介 他
Citation	日本医学放射線学会雑誌. 1996, 56(14), p. 1071-1072
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/18829
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

Covered Wallstentによって治療した食道気管瘻を伴った 悪性食道狭窄の1例

岩崎 善衛 中島 康雄 野坂 俊介
佐伯 光明 石川 徹

聖マリアンナ医科大学放射線医学教室

A Case of Malignant Esophageal Stenosis with Esophageobronchial Fistula Treated with a Covered Wallstent

Yoshie Iwasaki, Yasuo Nakajima,
Shunsuke Nosaka, Mitsuki Saeki
and Tohru Ishikawa

A polyurethane-covered Wallstent was used for a esophagus cancer patient with malignant esophageal stenosis associated with esophageobronchial fistula. Stent placement was successfully performed with no procedure related-complications.

Following the procedure the patient could eat a normal diet. The insertion of a polyurethane-covered Wallstent is a safe and effective treatment for malignant esophageal stenosis with esophageobronchial fistula.

はじめに

悪性食道狭窄に対して、近年expandable metallic stent(以下、EMS)が用いられるようになってきたが、EMS内に早期に腫瘍が浸潤したり、食道気管瘻がある症例に用いられないなど不十分な点が多く見られた^{1),2)}。今回われわれは、欧州で臨床に用いられているcovered Wallstentを用いて食道気管瘻を伴う悪性食道狭窄を治療し、良好な臨床結果が得られたのでここに報告する。

症 例

51歳、女性。胸部中部食道癌と診断され、放射線治療と化学療法にて治療されたが、食道気管瘻による肺炎を併発した。肺炎は内科的治療にて緩解したが、食道気管瘻が大きく(Fig.2(A))、経口摂取不能とのことでcovered Wallstentを用いた治療の適応となった。用いたEMSHSchneider社製covered Wallstentであり、拡張時内径が20mm、長さが110mmである。中央部分70mmがpolyurethanの薄膜でカバーされている(Fig.1)。また、このステントのイントロデューサーであるTelestepは外径18Fr.で、従来のいずれのイントロデューサーよりも細い。内腔を0.038inchのガイドワイヤーが通り、オーバーザガイドワイヤー法にて挿入可能である。内視鏡を併用し透視下でガイドワイヤーを狭窄部を越えて挿入し、それにcovered Wallstentを装着したTelestepを挿入した。挿入前に拡張術を行わなかったが、ステントの挿入は容易で予定した部位に留置可能であった。留置翌日から

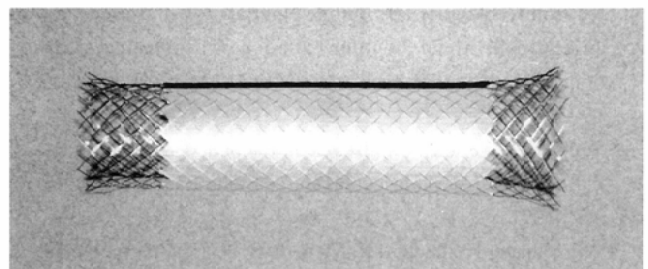


Fig.1 Covered Wallstent. Partially covered with polyurethan.

Research Code No. : 511.9

Key words : Esophagus, Carcinoma, Stenosis, Fistula

Received Mar. 27, 1996; revision accepted Sep. 2, 1996

1) Department of Radiology, St. Marianna University School of Medicine

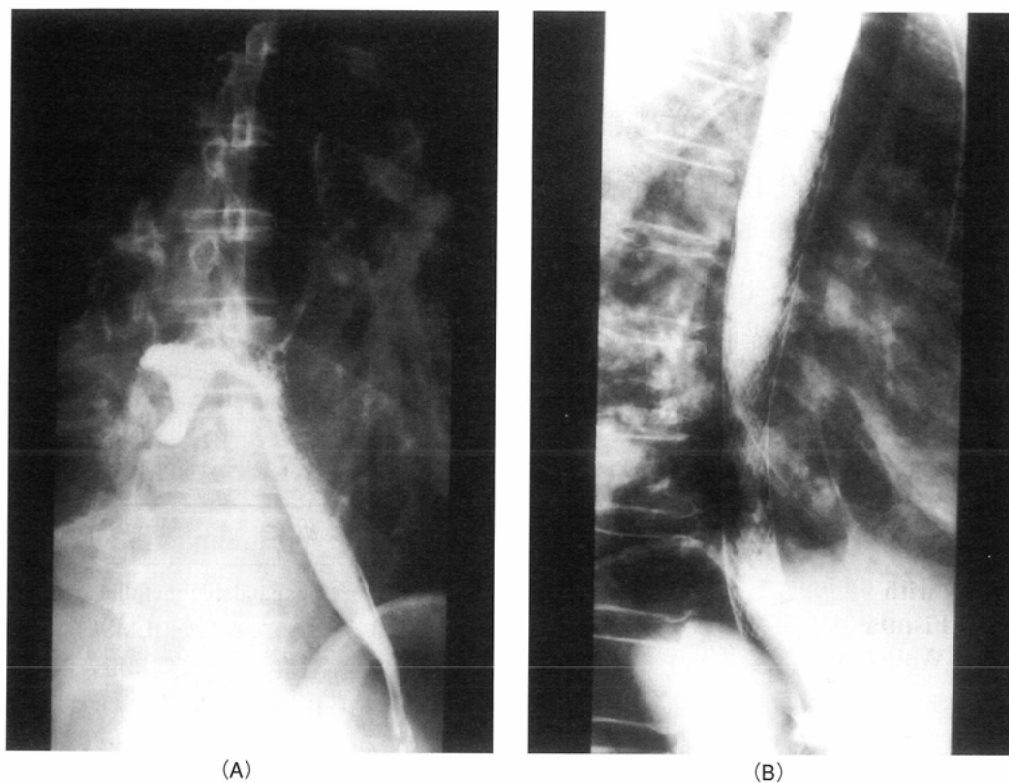


Fig.2 (A) Esophagogram demonstrates a large esophagobronchial fistula.
(B) The fistula was completely sealed after placement of a covered Wallstent.

飲水が可能となり、ステントも十分に拡張し(Fig.2(B)), 留置約60日後の現在も常食摂取可能であり、外来で経過観察中である。

考 察

悪性食道狭窄に対して行われてきた人工食道による治療は、外径が大きいためしばしばその挿入が困難であったり、逸脱などの合併症が見られ、EMSを用いた治療にとって代わられてきている¹⁾。現在市販されているZ-stentはflexibilityがなく、挿入がやや困難であり、出血などの合併症が報告されている²⁾。われわれもcovered Z-stentを自作したがイントロデューサーが太くなり挿入が困難であった。これに対してUltraflexは柔軟性があり、イントロデューサーも22Frとやや細く挿入も比較的容易だが、拡張力が弱く、留置前後のバルーン拡張術を必要とするなど煩雑な点も見られる³⁾。

文 献

- 1) Knyrim K, Wagner HJ, Bethge N, et al: A Controlled Trial of an Expansile Metal Stent for Palliation of Esophageal Obstruction Due to Nonoperable Cancer. *N Engl J Med* 329: 1302-1307, 1993
- 2) Song HY, Choi KC, Cho BH, et al: Esophagogastric Neoplasms: Palliation with a Modified Gianturco Stent. *Radiology* 180: 349-354, 1991
- 3) Winkelbauer FW, Schofl R, Niederle B, et al: Palliative Treatment of Obstructing Esophageal Cancer with Nitinol Stents: Value,

これに対してcovered Wallstentはpolyurethanの薄膜でcoverされており、食道気管瘻を伴う悪性食道狭窄にも適応するというのが最も大きな特徴である⁴⁾。Wallstent自体に柔軟性もあり、そのradial forceが強く、高度の狭窄であってもバルーン拡張なしで十分な拡張が得られるという特徴もある。Telestepという18Fr.すなわち6mmという、かつてない細さのイントロデューサーに装着され、その挿入に際しては術前のバルーン拡張術を必要とせず、ワンタッチで留置可能である。今までの人工食道や食道ステントと比較しても最も優れた、臨床的に有用なdeviceであると思われる。

また留置後のステントの移動は、われわれの症例ではみられていないが、Watkinsonらによると胸部中部食道に留置した症例では32例中1例(3%)のみに移動がみられたのに対して、食道胃接合部に留置した症例においては7例(22%)に移動がみられ、そのうち2例が消化管出血で死亡しており、他のステントと同様に食道胃接合部には安易に留置しないように注意を促している⁵⁾。

おわりに

食道covered Wallstentは従来の人工食道や現在市販されているEMSに比較してその挿入や留置が極めて容易で、かつ十分な拡張が得られるので、食道気管瘻を伴った胸部中部の悪性食道狭窄の症例に対して有用であり、今後重要な治療法の一つになっていく可能性が示唆された。

Safety, and Long-Term Results. *AJR* 166: 79-84, 1996

- 4) Watkinson A, Ellul J, Entwisle K, et al: Plastic-Covered Metallic Endoprostheses in the Management of Oesophageal Perforation in Patients with Oesophageal Carcinoma. *Clinical Radiology* 50: 304-309, 1995
- 5) Watkinson AF, Ellul J, Entwisle K, et al: Esophageal Carcinoma: Initial Results of Palliative Treatment with Covered Self expanding Endoprosthesis. *Radiology* 195: 821-827, 1995